



試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
外 観 試 験	設 置 方 法	分 岐 方 法	_____
		結 線 ・ 接 続	_____
		表 示	_____
		耐 震 措 置	_____
		蓄 電 池 ・ 充 電 装 置 逆 変 換 装 置 ・ 直 交 変 換 装 置 等	_____
		配 線	_____
機 能 試 験	接 地 抵 抗 試 験		(接地工事の種類) 種接地工事 Ω
	※ 絶 縁 抵 抗 試 験	充 電 装 置 の 交 流 側 端 子 と 大 地 間	MΩ
		逆 変 換 装 置 の 交 流 側 端 子 と 大 地 間	MΩ
		直 交 変 換 装 置 の 交 流 側 端 子 と 大 地 間	MΩ
		直 流 側 端 子 と 大 地 間	MΩ
	作 動 試 験	減 液 警 報 装 置	_____
		切 替 装 置	_____
備 考	試験実施者が有している資格：		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 選択肢のある欄は、該当する欄を○印で囲むこと。
  - 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。
  - 結果の欄には、良否を記入すること。
  - ※印の試験は、「蓄電池設備の基準」（昭和48年消防庁告示第2号）に適合しているものとして、総務大臣又は消防庁長官が登録した登録認定機関の認定を受けた旨の表示が付されているものにあつては、当該設備にかかる部分について省略することができる。